

平成 27 年度 社会福祉法人境町社会福祉協議会事業報告

1. 法人運営部門

(1) 理事会・評議員会・監事会の開催

実施期日	会議名	議案事項
H27. 5. 18	監事会	平成 26 年度社会福祉法人境町社会福祉協議会一般会計及び特別会計決算の監査
H27. 5. 27	理事会	平成 26 年度社会福祉法人境町社会福祉協議会事業報告並びに一般会計特別会計決算について 評議員の選任について
H27. 5. 27	評議員会	平成 26 年度社会福祉法人境町社会福祉協議会事業報告並びに一般会計特別会計決算について 理事の選任について
H27. 9. 2	理事会	専決処分の承認について（訪問介護事業所運営規程の一部改正） 平成 27 年度社会福祉法人境町社会福祉協議会収入支出補正予算（第 1 号）案について 評議員の選任について 地域福祉活動支援事業助成金交付について（審査）
H27. 9. 2	評議員会	専決処分の承認について（訪問介護事業所運営規程の一部改正） 平成 27 年度社会福祉法人境町社会福祉協議会収入支出補正予算（第 1 号）案について 理事及び監事の選任について
H27. 9. 18	理事会	会長並びに副会長の選任について 職務代理者の順位指名及び常務理事の指名について
H27. 9. 18	評議員会	委嘱状交付 理事会の報告事項
H27. 12. 22	理事会	平成 27 年度社会福祉法人境町社会福祉協議会収入支出補正予算（第 2 号）案について 社会福祉法人境町社会福祉協議会定款の一部改正について
H27. 12. 22	評議員会	平成 27 年度社会福祉法人境町社会福祉協議会収入支出補正予算（第 2 号）案について 社会福祉法人境町社会福祉協議会定款の一部改正について
H28. 3. 24	理事会	平成 27 年度社会福祉法人境町社会福祉協議会収入支出補正予算（第 3 号）案について 平成 28 年度社会福祉法人境町社会福祉協議会事業計画案並びに収入支出予算案について
H28. 3. 24	評議員会	平成 27 年度社会福祉法人境町社会福祉協議会収入支出補正予算（第 3 号）案について 平成 28 年度社会福祉法人境町社会福祉協議会事業計画案並びに収入支出予算案について

(2) 役員研修

期 日 10月14日～15日

研 修 先 神奈川県小田原市社会福祉協議会

内 容 社会的に支援を必要とする方々を、地域で支えてゆく活動について研修

参加人数 19名

(3) 社協会員の募集強化

自主財源確保のため、一般・特別会費等の徴収に努めた。

会 費 種 別	件 数	金 額
普通会費	5,623	2,811,500
特別会費	70	107,500
法人・福社会費	741	3,849,000
特別法人・特別福社会費	19	570,000
合 計	6,453	7,338,000

(4) 会館の運営管理

各福祉団体の活動の場として利用できるよう、施設の運営管理に努めた。

利 用 団 体	件 数	利用人数
ボランティア、各福祉団体等	50	825

(5) 福祉バスの運営・維持管理

安全に快適に利用できるよう、整備・安全運転・維持管理に努め、住民の福祉とサービス向上に努めた。

バ ス	延 回 数	延 人 数
福 祉 バ ス	128	4,075
ふれあいバス	98	2,216

(6) 広報事業

「社協だより」を隔月に発行し、全戸配布することにより社会福祉協議会の活動内容の周知に努めた。またホームページを随時更新し、住民への情報発信に努めた。

2. 地域福祉活動推進部門

(1) 共同募金運動の推進

区長会や各団体・学校・職域など、多くの関係者の協力により実績を収めた。

①赤い羽根募金 実績額 3,056,449円

募 金 別	募 金 額	募 金 別	募 金 額
戸別募金	2,219,000	大口募金	477,000
学校募金	197,116	自動販売機募金	8,866
職域募金	52,791	募金箱	20,528
イベント募金	42,101	その他	152
個人募金	38,895		

②歳末助け合い募金 実績額 2,794,692円

募 金 別	募 金 額	募 金 別	募 金 額
戸別募金	1,671,900	昨年度剰余金	1,043,289
個人募金	15,317	その他	86
団体募金	64,100		

③歳末助け合い配分事業

事 業 名	金 額	対 象 者
歳末たすけあい見舞金給付事業	1,501,454	86世帯
紙オムツ購入支援事業	433,298	90世帯
歳末地域福祉事業（助成金事業）	309,199	父母の会・SKIP・身体障害者協議会・母子寡婦福祉会
歳末地域福祉事業（ファミリーコンサート）	390,856	町内の親子
合 計	2,634,807	

(2) ボランティアセンターの運営

①ボランティアコーディネート事業（相談、調整、登録、紹介）

相談依頼件数 17件

内 容	件 数
境特別支援学校行事	2
社協行事	4
老人クラブ行事	6
施設行事	1
小学校福祉体験	3
身体障害者協議会行事	1

②ボランティアセンター広報紙「ボランテ」の発行

発行日 第7号 7月31日
 第8号 11月30日
 第9号 3月31日

③ボランティア養成研修事業

(ア) 認知症サポーター養成講座の開催

期 日 6月26日

内 容 認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族を見守るサポーターの養成

受講者数 26名

(イ) 傾聴ボランティア養成講座の開催

期 日 8月19日・26日

内 容 傾聴の基本技術の習得

受講者数 13名

(ウ)「メイクとハンドケア」ボランティア養成講座の開催

期 日 1月26日

内 容 メイクとハンドマッサージを相手に施す基本技術の習得

受講者数 10名

(3) 児童福祉の推進

① “子どものときから福祉の目を” をスローガンのもとに、児童・生徒のボランティア活動普及事業協力校に全小・中学校を指定し、助成と情報提供を行い福祉教育の推進に努めた。

②小学校からの依頼により、ボランティアや職員が講師となり、手話・点字・車いす体験等の福祉体験の実施や福祉機器の貸出し等を行い、福祉への関心・理解の周知に努めた。

実施日	学校名	内 容
9月4日	森戸小	点字・アイマスク・車いす体験
9月30日	静小	手話体験
10月9日	静小	点字体験
10月27日	猿島小	点字体験
11月4日	猿島小	手話体験
11月10日	静小	アイマスク・車いす・高齢者疑似体験
11月11日	猿島小	アイマスク・車いす体験
11月25～27日	境小	車いす・高齢者疑似体験機器の貸出のみ
2月22日	長田小	アイマスク・車いす体験
2月23日	静小	ベルマーク整理

③子ども福祉チャレンジ教室の開催

実施日	内 容	参加人数
8月4日	福祉についての学習・車いす体験	22
8月8日	幸和義肢研究所・サイバーダインロボット見学	12
8月10日	点字・手話体験	23

④教職員向けに、高齢者疑似体験・手話体験・点字体験等の福祉体験学習を開催

期 日 7月30日

参加人数 8名

(4) 高齢者福祉の推進

①老人クラブ連合会への活動支援

②ゲートボール大会やペタンク大会・グラウンドゴルフ大会等の支援をし、スポーツの振興・普及に努めた。またボランティアサークルの協力を得て介護予防体操やハイキングを実施し、高齢者の健康づくりや生きがい対策に努めた。

③健康づくり仲間づくりを目的としたシニアカレッジの実施。

	実施日	内 容	参加人数
歴史散策	5月21日	結城市歴史散策	36
	10月23日	土浦市歴史散策	37
	2月15日	桜川市歴史散策	40
ハイキング	6月30日	大平山	37
	9月30日	つくばサイエンス通り	34
	11月20日	唐沢山	40

(5) 障害者福祉の推進

①第30回障害者と健常者の交流会を開催

期 日 9月12日
 内 容 富岡製糸場の見学
 参加人数 27名参加

②県立境特別支援学校の行事等への協力に努めた。

(6) 母子寡婦・父子福祉の推進

小学校入学児童お祝いの集いの開催

対象児童数 21名 図書カード贈呈
 参加人数 38名

(7) 啓発事業

①第21回福祉映画会の実施

期 日 1月24日
 内 容 落語講演会「笑いで健康づくり」
 講師：林家久蔵師匠
 映画「人生、いろどり」
 来場人数 約400人

会場ロビーにて、町内や近隣福祉施設の利用者の作品を展示販売

②国際福祉機器展見学会の開催

期 日 10月8日
 場 所 東京ビッグサイト
 参加人数 28名

③永年福祉にご尽力いただいた方々を推薦し、茨城県社会福祉大会において顕彰。より一層の福祉への貢献を期待した。

期 日 11月17日
 会 場 土浦市民会館
 表 彰 者 県社協会長表彰 7名、1団体
 県共募会長表彰 1団体

(8) サロン事業の推進

誰もが気軽に集える地域の交流の場や居場所としてのサロンを展開。特技や豊かな経験・知識を持つ人材の活用により、生きがいに繋がるサロンの実施に努めた。

開催日	内容	参加人数
4月15日	認知症予防について	38
5月20日	ニセ電話詐欺防止についての寸劇	44
6月17日	和紙の小物入れ作り	49
7月15日	認知症予防について	32
10月7日	塗り絵、物づくり	40
11月11日	古河菊まつり	32
12月16日	クリスマス会	39
1月20日	回想パズル、おりがみ	35
2月17日	近代美術館出前イベント	32
3月16日	高齢者栄養セミナー	36

(9) 地域福祉に寄与する事業を行う団体へ助成を行い、地域福祉の推進に努めた。

助成団体数 8団体

3. 福祉サービス利用支援部門

(1) 地域活動支援センター事業

在宅の心身障害者のために、社協の送迎車により通所し、日常生活に必要な社会性の訓練・創作的活動や生産活動の場を提供し継続的に行うことにより、社会生活への適応力を養い障害者の地域生活支援の促進に努めた。

登録者数 9名

延利用者数 1,663名

(2) 相談事業

町民の生活上の悩みごと・心配ごとについて毎週火曜日に心配ごと相談所を開設し、問題解決への方向性を助言・指導した。

開設日数 48日

相談件数 13件

(3) 子育てサポーター派遣事業

①仕事や急用等の際に子供を見てほしい等子育てに関する様々な支援を受けたい人(利用会員)と地域の子育てを援助できる人(協力会員)をコーディネートし、身体的・精神的負担の軽減を図り、安全に安心して子育てができる支援活動の推進に努めた。

会員数 ・利用会員 42名 ・協力会員 62名

サービス内容	利用者数	利用延回数
・子供の習い事等の送迎	4	151
・学童の迎え及び帰宅後の預かり	1	36
・学童から自宅等への送り	2	171

サービス内容	利用者数	利用延回数
・学校への迎え及び預かり	1	10
・保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	2	86
・保護者等の外出の場合の預かり	1	9
・保護者の家事中の預かり	1	28

②子育てサポーター交流会の実施

期 日 1月31日

内 容 壁掛けの作成を通して、利用会員、子供、協力会員との交流

参加人数 17名

(4) 地域ケアシステム推進事業

高齢者や障害者が、住みなれた家庭や地域で、安心して暮らせるよう、地域社会において福祉・保健・医療関係者で「在宅ケアチーム」を組み、要援護者一人ひとりのニーズにあった総合的かつ着実なサービスを提供できるよう努めた。

(5) 配食サービス事業

ボランティアの協力を得て、ひとり暮らしや高齢者世帯等に毎週金曜日（月4回）にお弁当を届けることにより、食生活の安定と健康維持を図り、安否の確認と支え合いながら住みよい地域づくりの推進に努めた。

実施日数 48回

延べ食数 2,475食

(6) 生活福祉資金貸付事業

低所得者・障害者・高齢者世帯等に対し、貸付相談等を通じて経済的自立と生活意欲の助長や在宅福祉及び社会参加、安定した生活に向けての支援をした。

相談件数 9件

利用件数 1件

貸付総額 50,000円

(7) 日常生活自立支援事業

認知症の高齢者や知的または精神的に障害のある方など判断能力が不十分で、かつ親族などの援助が得られない方に対して、生活支援員と専門員が福祉サービスの利用手続きの援助や日常生活の金銭管理援助及び書類等の預かりサービスを行い、日常生活を支援した。

	利用者数	支援回数
認知症高齢者等	8	114
知的障害者	3	43
精神障害者	3	88
その他	2	46
合計	16	291

(8) 善意銀行の運営

①善意をもって寄せられた預託金・預託品の受託並びに払い出しを行った。

金 銭				物 品	
預 託		払 出		預託件数	払出件数
件 数	金 額	件 数	金 額		
4 8	1 6 5, 3 2 2	2 6	4 6 3, 0 7 4	1 6 6	5 2

②緊急つなぎ資金の貸付けをし、生活支援を行った。

貸付延べ件数	貸付金額	償還延べ件数	償還金額
2 5 件	4 5 3, 3 0 0 円	7 9 件	4 6 7, 8 0 0 円

③福祉機器の無料貸し出しを行い、身体機能維持向上や介護負担軽減に努めた。

種 別	保有台数	貸出台数
車 い す	2 4	5 7
特 殊 寝 台	1 5	1 0
エ ア マ ッ ト	2	0
歩 行 器	6	1
盲 人 用 杖	3	0
四 点 杖	3	1

(9) 実習生の受け入れ

高校・専門学校・大学生等の資格取得のための実習生の受け入れをし、人材養成の支援に努めた。

古河第二高等学校 受入延人数 1 5 名

4. 在宅サービス部門

(1) 介護保険並びに障害サービスを利用する介護の必要な方や家族の要望を尊重し、心身の状態や家族の状況に考慮しながら、適切なサービスが提供できるよう努めた。

事 業 名	利用延人数	利用延回数
通所介護事業	7 5 3	7, 2 2 3
訪問介護事業	4 2 0	4, 2 6 8
居宅介護事業	1, 2 8 0	
障害者福祉サービス	5 6	4 3 7

(2) 軽度生活援助事業

ひとり暮らしや高齢者世帯等に日常生活上の援助を行うことにより、自立した生活の継続及び要介護状態への進行防止に努めた。

利用延人数 2 7 名 利用延回数 9 2 回

(3) 身体障害者デイサービス事業

在宅の身体障害者等に対し、通所の方法により入浴・給食・送迎・日常動作訓練等のサービスを提供し、家族の介護負担の軽減や心身機能の維持向上を図り、自立的生活の援助、社会的孤立感の解消に努めた。

利用延人数 3 名 利用延回数 8 回

(4) 障害者移動支援事業

屋外での移動に困難がある障害者が、外出の際支援を行うことにより、地域での自立生活及び社会参加を促すことができた。

利用延人数 20名 利用延回数 58回

(5) 一般乗用旅客自動車運送事業

通院や施設への移動等、単独では公共交通機関を利用することが困難な者に対し、安全な輸送運行を行い、利用者や家族の負担軽減を行った。

利用人数 105名

5. その他

(1) 災害ボランティアセンター設置

台風18号による記録的な豪雨により、境町においても甚大な被害を受け、町との連携を取り9月12日に災害ボランティアセンターを設置し、被災された方々へ復旧支援を行った。

設置期間 9月12日～12月28日

被災者ニーズ件数 35件

ボランティア派遣延人数 160人

(2) 会館維持管理事業

①空調設備設置工事 2,249,640円

②本館塗装工事 470,000円

③樹木剪定 577,560円